

クラシックを楽しむ会 特別編 ②

2021年4月11日(日) 19:00~20:00

ジョシュア・ベル 音楽とステイホーム

ジョシュア・ベル (バイオリン)

ラリサ・マルティネス (ソプラノ)

ジェレミー・デンク、ピーター・ドゥガン、カマル・カーン (ピアノ)

マウント・キスコ(アメリカ ニューヨーク州)にあるジョシュア・ベルの自宅で2020年7月16~18日に収録。



マウント・キスコの自宅で共演するジョシュア・ベルとラリサ・マルティネス

- ・バイオリン・ソナタ 第5番 へ長調 作品24 「春」から 第1楽章 ベートーベン 作曲
- ・スラブ幻想曲 変ロ短調 ドボルザーク作曲/クライスラー 編曲
- ・華麗なるポロネーズ 第1番 ニ長調 作品4 ヴィエニャフスキ作曲
- ・3つの夜想曲 作品9から 第2番 変ホ長調 ショパン作曲
- ・歌劇「ラ・ボエーム」から「ムゼッタのワルツ」(アリア「私が町を歩くと」) プッチーニ作曲
- ・歌劇「ボーギーとベス」から「サマータイム」ガーシュウィン作曲/ハイフェッツ 編曲
- ・「ウェスト・サイド・ストーリー」メドレー バーンスタイン作曲/ウィリアム・ブローン、
チャールズ・チャルネツキ 編曲
- ・無伴奏バイオリン・パルティータ 第2番 から サラバンド J.S.バッハ
- ・演奏会用アリア「不安な人よ」作品94から「戻れ 黄金の時代よ」 メンデルスゾーン/コーン編曲

ジョシュア・ベルとその家族

ジョシュア・ベル (1967-) は、アメリカ・インディアナ州出身のヴァイオリニストでグラミー賞*受賞者である。

14歳で巨匠リッカルド・ムーティ指揮のフィラデルフィア管弦楽団と共演し、18歳でセントルイス交響楽団とカーネギーホールデビュー。現在、世界の主要オーケストラと共演している。

バイオリニスト以外に、米国セントポール室内管弦楽団の芸術パートナー、英国王立音楽院客員教授、ケネディセンター名誉賞選考委員、母校インディアナ大学ジェイコブズ音楽院教員、マサチューセッツ工科大学の非常勤准教授、それに、巨匠ネヴィル・マリナーが創設した名門アカデミー室内管弦楽団の音楽監督などのほか、映画「レッドバイオリン」、映画「ラヴェンダーの咲く女性」のソロバイオリン奏者を務めるなど、多彩な活動をしているスーパースターである。

*英国の現代作曲家ニコラス・モーがジョシュア・ベルのために作曲した協奏曲の初演録音作品に与えられた。

父は、同性愛研究の草分けとして知られる心理学者、インディアナ大学教授の故アラン P. ベルである。ユダヤ人である**母**はメンタルヘルスの専門家である。

妻ラリサ・マルティネス (1986-) はプエルトリコ人のソプラノ・オペラ歌手。世界的なテノール歌手アンドレア・ボチェッリとしばしば共演していてカーネギーホールにもデビューした。プエルトリコ大学で環境科学の学士号をマネス音楽大学で修士号を取得している。父は緊急治療室医療を専門とするダニエル・マルティネス博士、母は職業看護師である。

ジョシュア・ベルとラリサ・マルティネスは 2011 年末にニューヨークのジャズの聖地ブルーノートの舞台裏で知り合った。半年後に正式にパートナーになり 7 年間後の 2019 年に結婚した。



Newly married: Joshua Bell and Larisa Martinez. Photo by Elena Cherkashyna

マンハッタンの自宅での新婚二人 (ニューヨーク・タイムズ記事から) と 自宅断面図 (設計事務所のホームページから)



息子たち。2007年に生まれた長男ジョセフにはベルの恩師の名前をつけた。2010年には双子のサミュエルとベンジャミンが生まれた。

息子たちの母リサ・マトリカルディはプロのバイオリニストである。1991年リサがボルティモア交響楽団でバイオリン奏者を務めていた時、ソリストとして共演していたジョシュア・ベルと知り合った。翌年から7年間パートナーとして暮らしたが、ベルの遊牧民的な生活と合わなくて、二人は1999年にパートナー関係を解消した。しかし、その後も親友として交際を続け、互いに二人の子供が欲しいということになり、生まれたのが上記の息子たちである。

ジョシュア・ベルの自宅はニューヨーク・マンハッタン中心部マディソンスクエア公園南側の高級住宅街にある。数ブロック離れたところに元パートナーのリサ・マトリカルディと息子3人が住んでいて、息子たちは両方の家を行き来している。

マウント・キスコはマンハッタンの中心部から60kmほど離れた小さな町で、町の郊外にある広大で自然豊かな別荘地に週末の自宅がある。